

①これからの公共施設について 第2回 -公共施設等総合管理計画-

今回は公共施設に関する総合的な計画について紹介します。

市は、これまで多くの公共施設の整備を行ってきましたが、今後、合併特例債の終了や人口減少による悪化も見込まれます。これらは公共施設のサービス水準の低下を招き、市民生活への影響が生じることが懸念されています。したがって、公共施設の更新費用の縮減を図りながら、サービスの品質・供給量の低下を防止するため、の点検、診断、維持修繕を適切な時期に適切な方法で実施することが必要です。市の公共施設の機能向上及び財政負担の平準化等に資するため、平成28年度に公共施設の長寿命化や統合等を推進する指針となる「笠間市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

○目的

- ①壊れたら直す管理ではなく壊れる前に適切な調査をし、予防保全により施設の長寿命化の推進を図ります。
- ②今後、集中する公共施設の大規模改修等の時期を分散することにより財政負担の平準化を図ります。
- ③公共施設の適切な更新時期を検討するため、維持管理に要する費用を把握します。

○笠間市公共施設等総合管理計画の基本方針

<p><u>方針1 公共建築物の総量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後30年間で、延床面積の総量20%を削減します。 ・新規の公共建築物の建設を抑制します。ただし、新規整備が必要な場合は以降の計画で総量が削減されるよう調整します。 	<p><u>方針2 公共建築物の再編・最適化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の評価を実施、将来の笠間市に合った集約・複合化などの再編シナリオを策定します。 ・社会状況の変化や市民ニーズに対応して、施設の機能を見直します。 ・施設の再配置が必要な場合は、都市機能の集約すべきエリアとの整合を図りながら配置の方針を検討します。 	
<p><u>方針3 将来更新費用の縮減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の長寿命化を可能な限り図ると共に、計画的、効率的な改修・更新を推進し将来更新費用を縮減します。 ・民間活力の活用を検討し、改修・更新・維持管理に係るコストを縮減します。 	<p><u>方針4 既存施設を効率的かつ有効に保全・活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民の連携、民間提案の活用を積極的に推進します。 ・低未利用や余剰施設は、貸付による利活用や売却を積極的に促進します。 	<p><u>方針5 公共施設等のマネジメント体制を確立</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全庁的に取り組むための体制を確立します。 ・公共建築物とインフラ施設の個別の長寿命化計画を策定し、推進します。

「笠間市公共施設等総合管理計画」をもとに、「各施設の見える化」を図るため、今年度は「笠間市公共施設等適正配置計画」を策定中です。

次回は、「笠間市公共施設等適正配置計画」を紹介します。

問 資産経営課（内線573）

